

# 認定農業者だより

## Next Step

日田版 令和7年1月  
大分県西部振興局 生産流通部  
T e l : 0973-23-2217  
F a x : 0973-23-3473  
E-mail : a11610@pref.oita.lg.jp  
記事へのご意見等をお寄せください



## スタートから 強い子牛を育てる



### 【 臍（へそ）を守る！ 】

子牛が生まれて最初に細菌感染から守らなければいけないのが、『へその緒』。臍疾患は、近年増加しており、特に冬季の発症が多く報告されています。

臍の異常は、見た目での発見が困難で、数カ月間気付かれない場合があります。気付かなければ、他の疾患などで免疫が弱った頃に細菌が全身に回り肺炎や腸炎、多発性関節炎の原因になり、慢性化した子牛は発育不良となります。

何事も無いように見えても発育が悪い子牛が多いと感じたら、臍が原因かも...

出生直後は、ただでさえ作業が多く手間がかかる時間帯ですが、適切な管理で厳寒期に負けない強い子牛を育てましょう。

#### 1 臍帯の消毒

##### (1) 臍帯は結ばない

体外に排出したい汚れが、外に出ていけない

##### (2) 適切な濃度の消毒薬に浸ける

薄いと消毒効果低下。

ムラなく丁寧に浸す。臍帯中に注入しない  
ポピドソ・ヨド（イソゾ）やクワキソ（ビテソ）

##### (3) 消毒は臍が乾燥するまで毎日行う

目安は1週間

※ 出血が止まらなければ、獣医師に診てもらう

出生直後のへその緒



一週間後のへその緒



#### 2 臍帯炎の予防

##### (1) 清潔で乾燥した分娩房を維持

(2) 出生子牛に良質な初乳をできる限り早く給与  
子牛の免疫を高めることは、臍帯炎をはじめ肺炎や腸炎などのリスク低下になります。

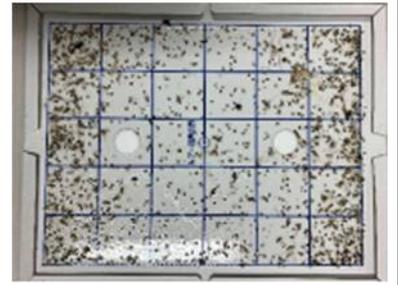
JAおおいた 広域指導員：井上獣医師、武石獣医師  
西部振興局 畜産班：内納

# トマトの片付けとトマトキバガ対策・青枯病対策

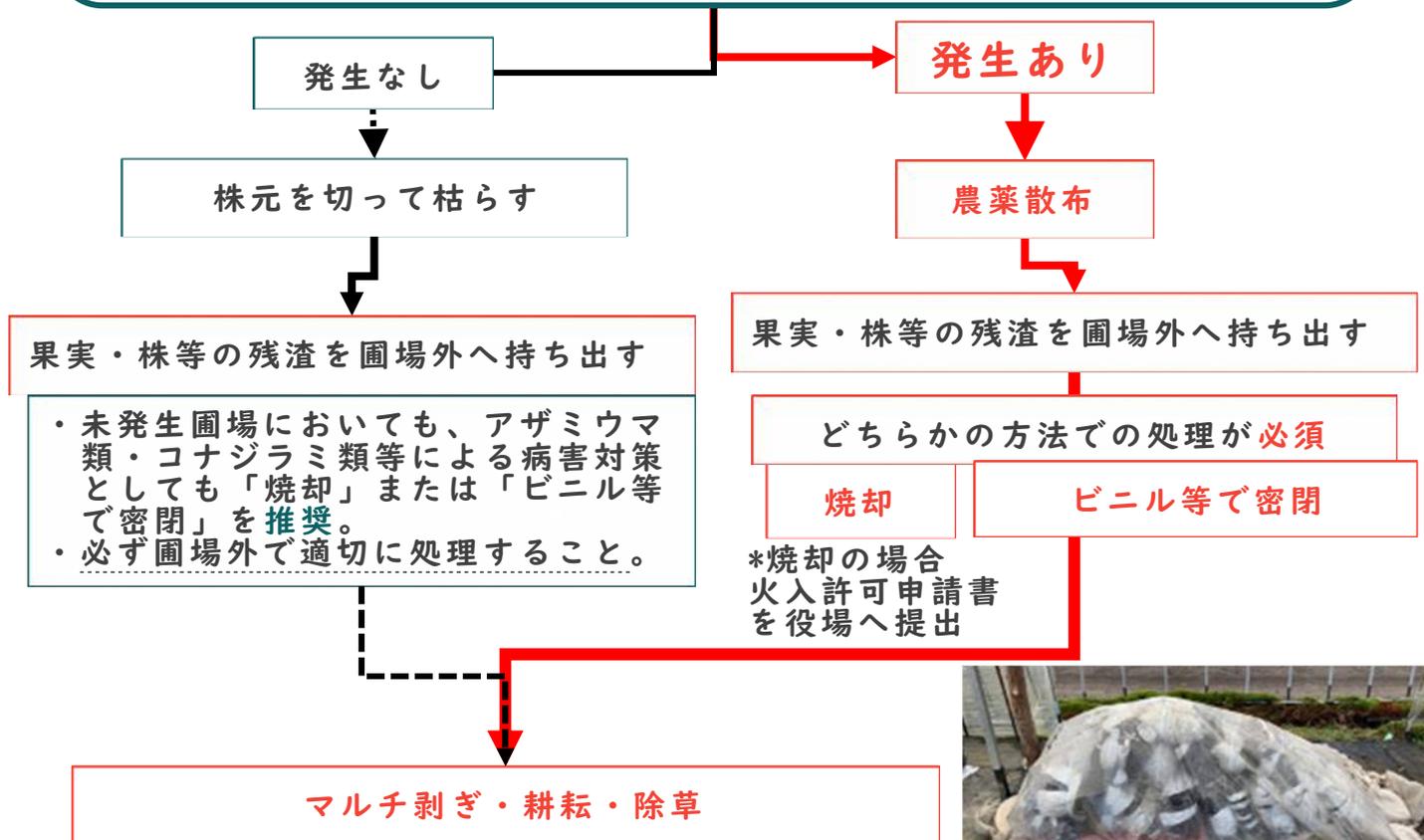
次期作に向けて病害虫が残らないように処理していきましょう！

## 1. 栽培終了後のトマトキバガ対策

西部地域に設置したトラップに多くのトマトキバガが誘殺されています。トマトキバガの被害を次期作で拡大させないように、収穫後の株の処理をしっかりと行っていきましょう。コナジラミやアザミウマの対策にも有効です。



トマトキバガがハウス内で発生しているか？



## 2. 次期作に向けた青枯病対策

青枯病の病原細菌 (*Ralstonia solanacearum*) は、乾燥した土壌 (水分20%以下) では10日間程度しか生存できないので、発生した圃場は土をできるだけ乾燥させてください。

下層まで乾燥させることはできませんが、菌密度が下がることで次期作での発生を遅らせる可能性があります。

- ① 病原菌の特性として、水分を含んだ土壌中では長生きしますが、乾燥土壌では短期間しか生存できません。
- ② 栽培終了後、株を抜き取って圃場外に持ち出して、感染源を減らしてください。
- ③ **ビニルは剥がさず**に耕起して、降雨に当てず、できれば密閉してハウス内温度が冬期でも上がるようにして土の乾燥を促進させてください。
- ④ 耕起は、トラクターなどで**発生圃場から未発生圃場に病原菌を拡大させない**ために、**未発生圃場から行き、発生圃場を最後に耕起**してください。

(園芸第一班 小野)

# 【水稲】令和6年産の作柄は「102」でやや良！

令和6年産の水稲は、農林水産省発表の作況指数（12月10日公表）で102（日田地区）とやや良でした。これは、7月下旬以降天候に恵まれ全もみ数は「やや多い」となったものの、出穂期以降の高温や台風第10号の影響により、登熟が「やや不良」となったためです。今回は、令和6年産水稲作の概況と日田市で開催した「なつほのか」西部地区推進研修会についてご紹介します。

## 1 令和6年の気象概況と水稲作への影響

令和6年の気象概況は、気温は生育期間全体（6～9月）をとおして概ね平年並～高く推移しました。7月末～8月の出穂期の平均気温は26℃を上回る高温となり、等級を下げる「白未熟粒」の発生の要因となりました。

降水量は7月下旬から8月中旬にかけて平年を下回っており、水が取れない地区では水不足による生育不良が見られました。

日照時間は7月下旬以降天候に恵まれ、平年を大きく上回り、もみ数の増加に影響しました。

病害虫については、斑点米カメムシ類で注意報が、トビイロウンカについて注意報と技術情報がそれぞれ発令されました。管内でも一部で被害が発生し、等級の低下や減収の被害が発生しました。白未熟対策は、高温耐性品種の導入や早期落水を避け土壌を湿潤に保つ、カメムシ対策は、穂揃い期と散布7～10日後の2回防除の実施など、今年特に被害が大きかった場合は対策をしましょう。

## 2 「なつほのか」西部地区推進研修会を開催！

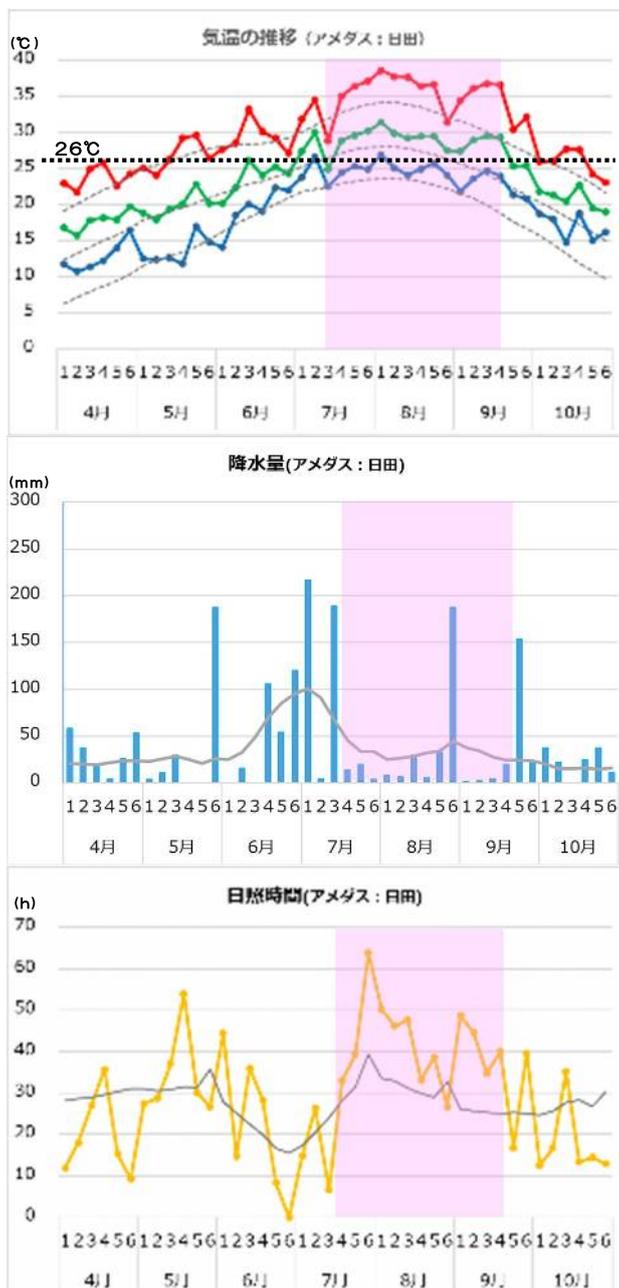
12月11日に日田市複合文化施設 AOSE で、大分県農業協同組合西部営農経済センターと西部振興局主催の研修会を開催しました。約30名が研修会に参加し、「なつほのか」の品種特性と栽培のポイント、日田市の（農）小野谷での実証試験結果について説明をしました。参加者に令和7

年からなつほのかの栽培意向を確認したところ、作りたいという回答が77%あり、約5haの作付増が見込まれています。

令和6年産の日田市の1等米比率は、なつほのかが70%、ヒノヒカリが32%と、なつほのかの方が高品質となりました。また、なつほのかは（農）小野谷の4年間の実証結果から、ヒノヒカリに比べ約12%程度多収であることもわかっています。

令和7年の作付に悩んでいる方は、ぜひなつほのかの作付を検討してみてください。

（集落営農・水田畑地化班 橋本）



# 農業者年金制度はご存じでしょうか？

サラリーマンは厚生年金による国民年金（基礎年金）への上乗せがある一方で農業者は国民年金だけでは豊かな老後生活を考えると不十分であり、自身で生活費を用意しなければなりません。そのため、農業者のために整備された農業者年金を検討してみたいかがでしょうか？

## ■ 農業者年金に加入すれば ～農業者年金の受給額（年額）の試算～

加入年齢	納付期間	保険料額	保険料納付総額	年金額（年額）		想定される受給総額	
				男性	女性	男性	女性
20歳	40年	1万円	780万円	61万円	53万円	1,305万円	1,419万円
		2万円	960万円	80万円	69万円	1,716万円	1,867万円
30歳	30年	1万円	660万円	47万円	41万円	1,016万円	1,105万円
		2万円	720万円	53万円	46万円	1,139万円	1,238万円
40歳	20年	2万円	480万円	31万円	27万円	674万円	733万円
50歳	10年	2万円	240万円	14万円	12万円	301万円	327万円

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が1.00%となった場合の試算です。  
 受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92.0歳まで生存した場合の金額です。  
 ※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の21年間（令和4年度まで）の運用利回りの平均は、年率2.74%です。  
 ※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和6年度は1.00%となっています。  
 ※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。  
 ※保険料額1万円のケースについては、35歳未満は保険料月額1万円で加入し、35歳以降は月額2万円で加入した場合です。

### ○要件

- ・年間 60 日以上農業に従事している。
- ・国民年金第 1 号被保険者になっている。
- ・65 歳未満である。

### ○メリット

女性に優しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫婦の同時加入または夫婦のどちらか 1 人でも加入できます。</li> <li>・家族経営協定で保険料の国庫補助があります。</li> </ul>
若年層には手厚い政策支援がある。 （保険料補助）	保険金補助は、 ①39 歳までに加入②農業所得が 900 万円以下③認定農業者かつ青色申告者等の要件を満たせば受けることができます。
税制面で大きな優遇がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支払った保険料は全額社会保険料控除対象になります。</li> <li>・運用益は非課税になります。</li> <li>・将来年金として受け取る際も控除があります。</li> </ul>

○お問い合わせ先：お近くの JA または農業委員会まで

※農業委員会で加入手続きは行えません。

（営農推進班 吉武）

## 大型特殊(農耕車限定)運転技術向上研修について

大型特殊の運転技術向上研修（6日間）が、大分県立農業大学校にて年間4回程度実施されております。また、研修のすべてを履修した方に限り、研修終了翌日に実施される出張試験を受講することができます。研修を希望される方は担当までご連絡ください。

なお、既にお申込みが複数名おられます。順番待ちとなりますのでご了承ください。

- 1 実施場所 大分県立農業大学校（豊後大野市三重町赤嶺）
- 2 実施時期 6月、9月、12月、1月
- 3 対象者 認定農業者、認定新規就農者、集落営農法人、農業法人、FS研修生等
- 4 費用 受講料(2,000円)、保険料(600円)、試験料(2,600円)
- 5 人数 西部振興局割当人数が各回1名程度
- 6 その他 実施年度の4月1日時点で65歳未満、住所が大分県内であること等



（就農・参入支援班 小川）